

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 Gel immersion 法を用いた消化管内視鏡治療における術中穿孔症例の多施設後ろ向き観察研究』

研究機関名 福島県立医科大学附属病院

研究責任者 内視鏡診療部 職位・氏名 病院教授 引地拓人

【情報の利用目的】

取得した情報は gel immersion 法を用いた消化管内視鏡治療における術中穿孔症例の臨床的特徴および術後経過を明らかにし、本手技の有用性および安全性を検討することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、術中穿孔発生時の適切な対応の確立および内視鏡治療の安全性向上につながります。

【他機関への提供】

情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、パスワードの設定されたファイルにて電子的配信により研究事務局へ提供します。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

【研究に用いられる情報】

情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、内視鏡治療画像、CT 画像、血液検査結果 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

研究実施許可日から利用または提供を開始します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

【情報の取得方法】

対象者：2020 年 10 月 14 日～2026 年 3 月 31 日までに福島県立医科大学附属病院

消化器内科において、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)または内視鏡的粘膜切除術(EMR)を受け、穿孔を来した方

方 法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大森病院 研究代表者：石井 侃 役職：助教

【利用する者の範囲】

- ・福島県立医科大学附属病院 引地 拓人
- ・国保旭中央病院 宮川 明祐
- ・京都府立医科大学病院 土肥 統
- ・広島大学 卜部 祐司
- ・自治医科大学 井野 裕治

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙
福島県立医科大学 学長 鈴木 弘行
国保旭中央病院 病院長 糸林 詠
京都府立医科大学病院 病院長 佐和 貞治
広島大学 病院長 安達 伸生
自治医科大学 病院長 川合 謙介

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2029年3月31日までに下記へご連絡ください。申し出のあった方の情報は利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

担当者の所属・氏名: 福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部 中村 純

住所 : 福島県福島市光が丘 1

連絡先: 024-547-1583

当院の研究責任者: 福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部 引地 拓人

研究代表者

東邦大学医療センター 大森 病院 消化器内 科

職位・氏名 助教・石井侃

電話 03-3762-4151 内線 77548